

第12回、映画上映会のお知らせ！

タイトル：禁じられた遊び

兼8月弘明寺サロン

日時：2018年8月23日(木) 13:30～16:30

会場：放送大学神奈川学習センター 第8講義室

プログラム

1. 13:30～ 夏と秋の歌合唱 →
2. 14:00～ 映画（禁じられた遊び）上映
3. 16:00～ 太極拳
4. 17:00～ 懇親会

合唱曲

1. 夏は来ぬ
2. 夏の思い出
3. われは海の子
4. もみじ
5. 里の秋
6. 「学歌」
7. 最後に「禁じられた遊び
テーマ曲」

解説

「ガラスの城」のルネ・クレマンが監督した1952年作品。戦争孤児になった一少女と農家の少年の純心な交情を描くフランソワ・ボワイエの原作小説を映画化、この作品は52年のヴェニス映画祭のグラン・プリとアカデミー外国映画賞を受賞した。



入場無料 事前申し込み不要

どなたでも参加できます、直接会場にお越し下さい

主催：放送大学神奈川同窓会

担当：映画研究同好会 寺村 紀美夫、柳澤 明男、大野 貴司、呉 春美

映画のストーリー

1940年6月のフランス。パリは独軍の手におち、田舎道を南へ急ぐ難民の群にもナチの爆撃機は襲いかかって来た。五歳の少女ポーレット（B・フォッセイ）は、機銃掃射に両親を奪われ、死んだ小犬を抱いたままひとりぼっちになってしまった。彼女は難民の列からはなれてさ迷ううち、牛を追って来た農家の少年ミシェル（G・プージュリー）に出会った。彼は十歳になるドレ家の末っ子で、ポーレットの不幸に同情して自分の家へ連れ帰った。ドレ家では丁度長男のジョルジュが牛に蹴られて重傷を負い、大騒ぎしているところだった。ポーレットはミシェルから死んだものは土に埋めるということを知り、廃屋になった水車小屋の中に彼女の犬を埋め十字架を立てた。墓に十字架が必要なことを知ったのも彼女にとって新知識であり、以来彼女はこれのお墓あそびがすっかり気に入ってしまった。ジョルジュは容態が悪化して急死した。そのとき、隣家のグーアルの息子フランシスが軍隊を脱走して帰って来た。グーアル家とドレ家は犬猿の仲だったが、フランシスとドレの娘ベルトとは恋仲であった。ジョルジュの葬式の日、ドレは葬式馬車の十字架がなくなったことに気づいたが、これはミシェルがポーレットを喜ばすために盗んだのだった。ミシェルは更に教会の十字架を盗もうとして司祭にみづかり、大叱言を喰った。しかしミシェルとポーレットはとうとう教会の墓地まで出かけて、たくさんの十字架を持ち出した。ジョルジュが死んでから初めての日曜日、ドレー家は墓参に出かけたが、ジョルジュの墓の十字架がなくなっているのを見て、ドレは、グーアルの仕業にちがいないと思い込み、そこへ来たグーアルと大格闘をはじめた。しかし司祭の言葉で盗んだのはミシェルだとわかり、ドレはミシェルが何のために十字架を盗んだのか理解に苦しんだ。翌朝、ドレ家に二人の憲兵が訪れた。ドレはてっきり十字架泥棒がばれたものと思ったが、実はポーレットを孤児院にひきとりに来たのだった。ミシエルの必死の懇願にもかかわらずポーレットは連れさられた。雑踏する駅の一角、ポーレットは悲しく母を呼び求めて、ひとり人々の間を駆け去って行った。

スタッフ

原作：フランソワ・ポワイエ

監督：ルネ・クレマン

キャスト

Paulette ブリジット・フォッセー

Michel ジョルジュ・プージュリー

Michel's Father リュシアン・ユベール

Michel's Mother スザンヌ・クールタル

Georges ジャック・マラン

Berthe ローレンス・パディ

Gouard Andre Wasley

Francis アメデ

Jeanne ドニーズ・ペロンヌ